

日本国際政治学会院生・若手分科会
2023年度 第2回定例研究会

資源開発をめぐる多国間ポリティクス

——日中国交正常化後の極東における国際関係——

ロシアのウクライナ侵攻後、エネルギー情勢は混迷を深め、米中対立の中で経済安全保障への関心も高まっている。歴史的に見ても、資源の問題は国際情勢と不可分であった。本研究会では、日中国交正常化(1972年)後の極東において、日米中ソがシベリア開発をめぐるいかなる交渉や角逐を繰り広げたのかを、最新の史料を用いつつ議論する。

報告

呉博皓（北京大学歴史学部 Assistant Professor）
Refueling the Cold War: China Factor in the
(Un)making of U.S.-Japanese Coordination in the
Siberian Development, 1972-1983（使用言語は日本語）

討論

神田豊隆（新潟大学法学部・経済科学部・大学院現代社会
文化研究科教授）

● イベントの詳細 ●

日時 2024年2月4日（日）14:00～15:40

（※申込期限：2月3日（土）24:00）

場所 完全オンライン開催（Zoom）



参加申し込み

以下のURL（または右のQRコード）より事前登録をお願いします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfHGcaSOXioVTXC0LXaFm-sFkpHTBcz8aISqwA30ck-MSFQUg/viewform>

お問い合わせ

✉ jair.inseiken@gmail.com

web: <https://jair-grads.wixsite.com/inseiken>